



壬生町政だより

住民登録人口

昭和45年6月1日現在	対前月比
総人口 25,721人	41人増
男 12,705人	14人増
女 13,016人	27人増
世帯数 5,557世帯	19世帯増

発行所 栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

一部 5円60銭

県議会議員補欠選挙の投票日は七月十九日です



8名の交通指導員が誕生

交通戦争といわれる今日、交通事故は毎日のように発生しております。この交通事故は、年々増える一方で、壬生町管内でも昭和14年の一年間に発生件数161件、死者5名、傷者239名という痛ましい数字があがっています。

今年も現在昨年を上回る数字に昇っています。

このような状況からこのたび町で交通指導員制度を設け、8名の交通指導員を委嘱して、すでに活躍されています。

この交通指導員は、街頭での交通安全指導、地域における交通安全教育交通安全広報などの活動を行ない、交通事故の防止と交通安全思想の普及、高揚をはかろうとするものです。

街頭指導については、日曜、祭日を除く毎日午前7時から8時まで登校時の児童生徒、通勤者や一般の人の指導にあたることになっています。

読者のみなさん、交通法規を身につけて、交通事故をなくそうではありませんか交通指導員は次の方々です。

<壬生地区>清水良平(城東町)、渡辺大吉(城内)、白石洋(万町)、大橋信義(三好町) <稲葉地区>坂田佐一郎(下馬木) <国谷地区>田中直一(国谷)、青木邦夫(至宝町) <南犬飼地区>中村重作(中泉)

7月の納税

お忘れなく

固定資産税 第2期分

町長に佐藤三郎氏

七、九九八票を獲得



佐藤三郎氏(五十六才、無所属の佐藤三郎氏(四十九才、同じ)

佐藤三郎町長の急逝に伴い、突然町長選挙がなされることになり、六月十日の告示とともにあわたしい日が続いた。告示以来、浜野清氏、佐藤三郎氏、榎井章三氏の三候補者によって激戦が展開された。

一週間の六月二十三日の投票日を迎え、全町民は関心が高く、投票率は九一・二八パーセントであった。開票は、同日午後七時三十分から登壇会議室で行われ、佐藤氏が七、九九八票を獲得、次点の榎井氏に約一、八〇〇票の差をもって初当選となりました。

町長選挙開票結果

当 七、九九八票	佐藤三郎
次 六、一七〇票	榎井章三
九〇二票	浜野清



榎井章三氏(五十二才)三氏と駆けつけた有権者が多く、午前九時現在で四四・四二パーセントと好調な出足でした。

告示以来、町にはあわただしい空気が漂い、日増しに熱気が高まっていた。

いよいよ六月二十日の投票日を迎え、午前七時の投票開始とともに中央公民館の投票所をはじめ十七カ所には有権者が続々と詰めかけ折りから雨模様、田舎、表刈りなどの農繁期を迎えた農村地帯でもこの悪条件にもかかわらず出足は好調でした。

この日は土曜日とあって、通勤者の出勤前の「清き一票を」

各投票所状況

投票所	有権者		投票数	投票率
	男	女		
中央公民館	1,648	1,792	3,440	87.01
中央公民館	728	786	1,514	92.31
旭町小学校	431	432	863	92.34
藤原小学校	365	405	770	95.34
下福業公民館	972	1,049	2,021	86.83
福業地区公民館	325	364	689	94.77
七ツ石公民館	454	494	948	90.97
七ツ石公民館	251	272	523	93.63
羽生田小学校	437	442	879	90.16
沼公民館	302	345	647	95.70
南六郎小学校	200	197	397	91.00
安塚小学校	684	740	1,424	90.06
上長田公民館	148	167	315	93.24
不動公民館	251	279	530	90.84
不動公民館	191	196	387	93.19
助中公民館	211	228	439	87.20
不助公民館	420	387	807	72.14
不助公民館	8,018	8,575	16,593	89.35

得票が伸びて、佐藤氏の差が開いていった。

その後も開票事務は、順調に進んで九時五十分、佐藤氏七、九九八票、榎井氏六、一七〇票、浜野氏九〇二票の確定が選挙長から発表された。

佐藤三郎氏の略歴

壬生町大字壬生、四〇番地 大正十一年十月、生

才 壬生農商補習校卒、佐藤工業会長、県議会議員、栃木法入議員、自民党県連政調会長、東北

有効投票数 一五、〇七〇票 無効投票数 五九九票

選挙委員長、元栃女校体育後援会長

◇投票状況

登録者数 一六、七七八人(男八、〇八八人、女八、六七八人) 有権者数 一六、五九三人(男八、〇八一人、女八、五五五人) 投票者数 一五、二九二人(男七、二六八人、女八、〇二五人) 投票率 九一・二八%

は必ず収集車へ



なわらく目につくのは、山や川沿いの防のいたる所にゴミが捨てられていることです。

捨ててあるものは、いずれもゴム靴、空き缶、空ビン、ビニールなどあらゆる不燃焼物とゴミポル、紙ゴミです。

このようなゴミは、各家庭でためておいて危険物収集のときに出すようにしましょう。

今度の危険物の収集日は、七月下旬から八月下旬の実施予定です。

公害衛生、公共道徳を考へて、やたらに捨てないように、壬生町の恥にもなりますのでご協力ください。

ゴミは水分のないように

最近各家庭から出るゴミが非常に水分が多いため、燃えない状態で困っています。

また燃えているときに水分のあるゴミを入れると釜がわる原因ともなりますので充分水切をしってから出すようにしてください。

なお、ゴミの中にビン類が入っていますと爆発して大変危険ですので、必ず這類、危険物は別にしてください。

木曜日 下表町、中表町、下横町、上表町、今井、東下台、城東町、舟町、城南、仲通町、城内、上通町、万町、下町、七ツ石、羽生田、新町、三好町、旭町、日魯社宅、星の宮、至幸町、六美町、ひばりヶ丘、江川荘、東武団地、東第一、二団地、玩具団地、壬生アパート、(白)、土田、車の整備のため休む

運転手を募集

町では、ゴミ収集を週二回にするための運転手を次の通り募集します。

★資格 普通免許を有する健康な人

★給与 月額一万円〜二万五千元

★締切 六月二十日まで

◇くわしくは、役生課へお問い合わせください。

社会を明るくしよう

第二十回「社会を明るくする運動」が法務省主催により、全国的に七月一日から一カ月間にわたって強調月間として実施されています。

この運動は、すべての国民が犯罪の防止と犯罪を犯した人々の更正について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

この運動を一層効果をあげたため、石橋地区(壬生町、石橋町、上三川町、南河内村)保護会が開催されました。

壬生町でも「社会を明るくする運動」を実施委員会を開き、この運動を強く推進しています。

今年の重点目標は、「青少年の非行の防止と社会的進歩の強化」となっており、また「青少年の職場、地域社会の人々がそれぞれ役割の立場から、青少年の非行防止

日光イチゴの収穫

本町におけるイチゴ栽培は、昭和十九年から急激に増反となり特に近年では、雨の出あがり、冷かれば、苗を養いながら期間また、冷蔵したりしてある期間保存する。その後畑へ植え、湿度をあげ温室栽培方法などによって高度な技術が普及され、生産者たちの研究によってさらに出荷時期を早める地中暖房機などの導入がなされ、良質な品が市場に出荷されるようになった。

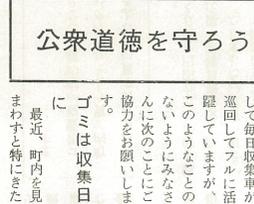
このイチゴ栽培は、本町において福業地区と壬生地区に多く、耕地面積約七十ヘクタール、生産戸数三五五戸の農家生産しています。

これによって農産物の増大につながり、豊かな農業経営に打ちこんでいます。

今年の特産品として、互協力の共同出荷で栽培農家の相互協力によって六月十日で終了、その高上は、四億五千万円にも昇る収入を得ています。

本町のイチゴ栽培は、今では日本一の生産地となり、日光イチゴの名は、全国に知られるようになりました。

公衆道徳を守ろう



ゴミ処理問題は、町の大きな課題のひとつになっています。

町では、昭和四十一年八月が、ゴミ焼却に努めてきましたが、これにも努力すあらゆる所にゴミの山がみられます。

たまたま、山の中、川岸など危険物やビニールが散乱しているありさまです。

町の清掃対策として毎日収集車が巡回してフルに活躍していますが、このようなことのないようにみなさんご協力をお願いします。

ゴミは収集日に

最近、町内を見まわすと特にきた

ビニールは燃やして処分しましょう

「アメシロは」 早く退治しよう



今年もアメリカシロヒトリが町のいたるところで発生しています。

このアメシロは、街路樹や農作物に大へん害を及ぼしています。そこで町では、役場経済課の職員と4月クラブの人などが六月十八日から学校など公共施設を巡回して防除つとめています。そこでみなさんも発見したら次のような方法で撲滅してください。

とくに庭木などは、家庭の隅をしっかりと注意で幼虫の巣を見つけてることができそうです。

見つけたらすぐに、果のついた枝葉を切りとって、つぶすか焼き捨てただけで、薬剤よりも大きな効果をあげることができそうです。

巣のみつけかた
幼虫は卵からかえる、分散せずにかたまつて糸をはり巣をつくります。

果の中の幼虫は、はちめ葉の表皮だけを残して葉を食いあらしらすので、葉がすけて見えますからこの時期に見のがさないことが大切です。

幼虫が集団をつくるのは、初期の十日から十二日くらいの間で、その後は、ばらばらに分散しますから、これをとらえて殺すことが

懸賞文募集

壬生町では、これからの壬生町はどうあるべきか、またはどう改善すべきかと将来に向つて壬生町のあり方、ビジョンについて懸賞文を募集しています。

新聞などでご承知の方もあつたと思いますが、栃木県では県発展長期計画を年々発表しました。壬生町でもこのたび昭和四十五年を基準年度として、昭和四十六年から昭和五十五年までの十年間、は「明るく住みよいそして豊かな壬生町」を造るためにはどうしたら良いかを考え、また実施してゆくための長期振興計画を作成することになりました。

そこで、このたび作成する振興計画の中に広く住民の方の意見を反映させ、壬生町の将来像をつくりたく懸賞文を募集することになりましたので、多数応募ください。

△締切 五月十五日まで
△用紙 四〇×四〇字原稿用紙五枚以内
△内容 壬生町の将来像(理想像)を造るための建設的ご意見を述べたものが結構です。
△懸賞金/特選 三千元 一席
△選 五百元 二席
△佳作 二百元 三席
△あて先 V 壬生町役場企画課 (郵送でも結構です)
なお、応募された原稿は返却いたしません。

郵便局からお願ひ

古くは字がわかりやすい表札を、ひさしの奥深く掲げている家をよく見かけます。古いものは貫録もあふし、その家の方の愛着もあるでしょうが、読めないのでは役に立ちません。せつかくの郵便物が家の前を通過してしまふことも決してないとはいへませんが、表札は、家族全員の名を掲げておきたいものです。

交通安全教室

「壬生町郵便局」
時代の要求に伴ない、婦人の教養を高め、家庭のしあわせ、そして明るく豊かな暮らしをつくるため壬生地区の婦人学級が、六月五日町教育委員会の主催で開催されました。

この学級の行事は、りやくさんご交通法規、農作業、郷土の歴史健康管理などについて、来年三月まで数回にわたつて開催し、それぞれ講義を特に依頼して行なわれます。

この日は、午前九時から中央公民館で会員約四十名が参加して「正しい交通法規は緊要な」のテーマで北島壬生警察所長との話し合いが行なわれ、その後、壬生公民館の渡り方など交通規則についての実演指導が行なわれ、みんな真剣に受講されていられました。

季節保育所を開設

―藤井の円照寺―

農家にとって一年中でもっとも忙しい季節を迎え、町では、藤井地区の子どもたちを水難防止および交通安全事故防止などをしよといつねに季節保育所が開設されています。

場所は、藤井小校裏の円照寺境内を行なわれ、六月八日に開所式が行なわれ、七月七日までの一月間開設されています。

この保育所は、鶴岡、新長高、高、藤井小が協力され、父兄から大賛助されています。円照寺境内には、今年で七年目を迎ふ今では、プランコ、すべり台、砂場など水気施設とされ、りっぱなものがあつて、子どもたちは毎日楽しく遊んでいます。

また、お手伝いとして、藤井高の実習生や壬生高の実習生、それに

事故があつたらす

壬生町農協の子女職員たちが毎日面談をみてくださっています。

藤井小で学級ごとに円照寺を訪問し、子どもたちに慰問されています。

交通安全啓蒙制度も本年二年目を迎えました。

去る四月の切替え事務も自治会長さんおよび班長さんの方ご協力と町民の皆さんのご理解により四六%の加入率を見ることができました。

この制度は最近における交通事故の激増に伴い、見舞金を受ける方が非常に多く果では、このままでは今後の運営に支障をきたすおそれがある理由で、本年四月から果交通受害条例を改正し、そのうちで見舞金の給付条件を

転入転居の届出は十四日以内

今年から年々にかけて、地方選挙が多く実施されます。

昨年の七月に公職選挙法が改正になり、選挙人名簿の登録は住民基本台帳に記録されている者が転居して登録する制度に改正されました。

したがって、実際壬生町に住民台帳に届出がなされ、住民基本台帳に記録され、住民票は発行出来ません。

また、住民票、印かん証明書改正し、特に警察に届出がなされたものは、全部取り下ろさなくては行かなくて、みなさんが交通事故にあらつたら速やかに(事故があつたら)、最寄りの警察署または駐在所に届出するようお願いいたします。

注意銀行

壬生町クリエーションクラブ(代表者石島路二)では、六月十三日中央公民館においてダンスパーティーを開いた際の収益五千元を困つていらっしゃる方にあげたいと町へ寄付いたしました。

また、役員職員藤原、郎氏も釣銭を貯めた五九四円高値寄付いたしました。

タバコは町で買ひまじょう町内で買つとそれだけタバコ消費税が町の収入となります。

火災現場には近寄るな

壬生町消防団では、毎月練習日(三日)四日)を定めて災害発生に備へ訓練を重ねておられます。

万一火災が発生した時は、急報を受け現場に急いで出動して取り扱いますが、過去の火災時の事例では、

一、消防車が警報を(赤色ランプ)をつけ、暗くして進行しても道を譲らない。

二、火災現場近くに車で乗り付ける。その上乗り付けた車に錠をかけ火災現場(野次馬)をしてい。

三、このような有様で、消火目的の消防車が水道へ給水作業や消防車との連絡水などの消火作業に誠に迷惑が生じ、消火作業が遅れています。

今後には絶対に火災現場に近寄らないこと、警察や消防団員の警報にしたがうようご協力ください。



一九番で問い合わせはやめよう

学校の設備資金にイチゴつみ
イチゴをつんで学校の設備資金にしよう、六月十二日、壬生小壬生中、藤井小の三校の児童が壬生小のイチゴ畑で、イチゴつみが行なわれました。

イチゴ畑約二五ヘクタールをわずかに三時間約二十五万円余りの取をあげました。

この畑は、農繁期を迎えた農家が人手不足のために、イチゴつみができないので学校に寄付されたもので、生徒約二十人とPT

各学校では、この金を設備資金にしようとし、生懸命、「壬生では、中庭に低学年用の公園を期計画で造る。壬生中では、各年級ごとに時計を購入したい、藤井小

お知らせ



◇乳児検診
昭和四十四年七月一日以降に生
まれお子さん。
七月十三日
一時三十分〜二時三十分

◇場所 南大飼公民館
感する地域は、
二十一日北小林、上田、中泉、
助谷、助谷原、岡谷(一)、岡谷(二)、
岡谷(三)
二十一日上狹貝園地、東武園地、
壬生バート、東武第二団地、東
第一、第二、第三、安塚(一)、安塚
(二)、上長田

◇成人病検診
六月二十日までに申し込みをし
た方。
◇期日 七月十四日
詳しくは、後日通知します。
◇母親教室
◇日時 七月二十一日
午後二時三十分〜一時
までにお集まりくださ
い。

◇場所 母子健康センター
◇実施日 七月八日、二十二

日 九時三十分まで
南大飼支所 九時四十分
稲葉 支所 十時
レジャーには
海の家の家へ
国民健康保険の被保
険者のための健康管理施設として
身心の鍛錬と健康の保持増進を図
つていたため、開設されます
からふるってご利用ください。

★料金 宿泊料 九〇〇円
一泊三食付(米六五グラム)
持参。ただし連合会から二〇〇
円補助されるので利用者は一人
八〇〇円負担となります。
休漁料 一五〇円(日帰り)
★申込み 利用される方は、役場
民生課へ、利用する期間(宿泊
日帰りの七日前まで)にお申し
出ください。

★期間 七月一日から八月三十一
日まで
★場所 茨城県那珂市厚ケ浦
浜田館

◇主 催
日本電報電話公社
大原賞
電公社総賞賞、交通部
等一、六〇〇名、入選
電公社総賞賞、交通部
等一、六〇〇名、入選

◇資 格
小学生
◇大きさ
B四版(二五七ミリ
×三四四ミリ)また
はB三版(三六四ミ
リ×五一一ミリ)
◇締め切り
九月十日(到着)
◇送り先
電報電話局
◇入選発表
地方入選、中央入選
等一、六〇〇名、入選
電公社総賞賞、交通部
等一、六〇〇名、入選

◇材 電報や電話に關係の
あるもの
◇資 格
小学生
◇大きさ
B四版(二五七ミリ
×三四四ミリ)また
はB三版(三六四ミ
リ×五一一ミリ)
◇締め切り
九月十日(到着)
◇送り先
電報電話局
◇入選発表
地方入選、中央入選
等一、六〇〇名、入選
電公社総賞賞、交通部
等一、六〇〇名、入選

◇野球大会始る
壬生町体育協会では、第十四回
町内職対抗野球大会を開催する
ことになり、多くチームの参加
を望んでいます。
◇期 日 七月 十二日(日)
七月 十六日(日)
八月 二日(日)
八月 八日(日)
◇会 場 壬生中、稲葉中、南
六中

◇参加要項
一、出場選手の資格は、本町内に
住所または勤務していること
二、各職域一チームとし、人員は
監督を含めて十五名とする。
三、申込期限は七月四日正午まで
に教育委員会事務局へ。



慈覚大師(壬生円仁)二
壬生円仁の比叡山での修徳修行
は約十五年の間、学徳大いに進み
後醍醐天皇、やみがたく山を下
り、法隆寺主寺等で開講した。
当代第一流の大師
学者であり、且大
徳者である円仁の
教を受けんとする
者が、諸方からむ
らがり集ったとい
う。



病氣快復後四十五才になって、
遣唐使藤原旅禪に従い唐に渡り、
寺院は二百余と言われている。
その多くは関東、東北にある。そ
のうちの数例をあげれば、稲葉の円
宗寺、栃木大平山の般若寺、円通
寺自願山勝泉寺外数ヶ寺、日光輪
王寺の三仏堂並に篤行法華堂、山
形の立石寺、平泉の中尊寺などで
ある。(福田)

日を入唐求法巡礼記なる日記にし
たためた。これは余り説まされし
なかつたが、前駐日米大使ライシ
ャー氏によって明らかになり、
その貴重さが認められた。
旅行記としては、イタリヤのマ
ルコポーロの東方見聞録や、唐僧
玄奘の西域記などが有名であるが
現在では円仁の巡礼記が、それ等
にましても、貴重な記録として評価
されている。
円仁の帰朝は順調ではなかつ
た。二回も船に
乗って日本に向
つたが、その都
度送風にあつて
難航し三回目で
やっと帰朝でき
た。
帰朝後は朝廷
の厚信を得て、
比叡山で天台座
主となつた。
円仁の巡錫行脚